

摂南大学生が小学生に実践型防災教育【第2回】

学校体育館での避難宿泊体験という防災力を高めるキャンプで
将来の青少年リーダー育成に協力

【6月22日(土)・23日(日) 場所：交野市立第四中学校体育館】

摂南大学(学長：今井光規)では、防災教育の啓発活動を積極的に展開している同大学文系クラブのボランティア・スタッフズが、6月22日・23日(1泊2日)、交野市内の小学校4年生～6年生の児童42人を対象とした「実践型防災教育キャンプ交野プロジェクト」を実施します。

本学の連携協定先である交野市での実施は一昨年に続き2回目で、同市教育委員会が募集した児童を対象に、災害時に中心となって活動できるよう、「実践・体験型の防災教育」を通じた将来の青少年リーダー育成を目指しています。

ボランティア・スタッフズの学生19人は、事前に大阪府枚方土木事務所から同市の防災情報などの指導を受け、災害状況をシュミュレーションした上で、ダンボールによる避難所作りと避難所体験、炊き出しの仕方、非常食の食べ方、AEDの使用方法などを児童に教示します。災害図上訓練の体験指導では、参加児童に「自助・共助・公助」における「自助の大切さ」をしっかりと伝えることができるよう、独自の工夫を凝らしています。また、避難所体験では、①怪我人・病人・お年寄りの目線に立つこと、②命の大切さ、③普段の食事のありがたさなども気づかせます。

つきましては、次のとおり開催概要をお知らせいたしますので、取り組みの様子などを取材していただければと存じます。何卒よろしくお願いいたします。

1. 日 時：2013年6月22日(土)～23日(日)〈1泊2日〉

2. 場 所：交野市立第四中学校体育館(大阪府交野市天野が原町5-65-1)

TEL.072-892-0451(京阪交野線「河内森駅」、JR学研都市線「河内磐船駅」から徒歩約10分)

3. 参加者：交野市内の小学校4年生～6年生の児童 42人

【お問い合わせ先】

摂南大学地域連携センター(担当：小出)

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 E-mail:chiiki@ofc.setsunan.ac.jp

TEL.072-829-0385 携帯 TEL.080-5716-3789

【本件発信部署・取材のお申し込み先】

学校法人 常翔学園 広報室(担当：西田) TEL.06-6954-4026

■□「実践型防災教育キャンプ交野プロジェクト」実施概要□■

6月22日(土) 10:00～ 開講式、アイスブレイキング(人間関係構築ゲーム)
12:30～ 非常食を食べよう！
13:30～ 避難所を作ってみよう！(段ボールで自由に作らせる)
16:30～ (老人や体の不自由な人の目線で)避難所を作り直そう！
17:00～ 非常食を作ろう！
18:00～ 夕食(非常食)、自由時間(学生による生バンド演奏)
22:00～ 就寝

6月23日(日) 7:00～ 起床、体操
8:00～ 非常食をまた食べよう！(避難所では非常食が主食)
9:00～ 学生独自工夫の災害図上訓練(災害シミュレーション)
12:00～ もう一度、非常食を食べよう！(普段の食事のありがたさを知る)
13:00～ AED 体験講習
14:10～ トリアージ説明、防災教育・減災活動の振り返り
15:00～ 閉講式

摂南大学と交野市(中田仁公市長)は2007年5月に、また、本学と大阪府枚方土木事務所(岡村隆正所長)は2013年3月にそれぞれ包括連携協定を締結し、相互の連携活動を活発に展開しています。一昨年6月、同市長からの提案を受け、「実践・体験型の防災教育活動」を長年にわたり実践している本学のボランティア・スタッフズの学生が、同市内の小学生を対象に本活動を開始しました。今回は、同大学・同市と大阪府枚方土木事務所がタッグを組んで実施するものです。

防災教育は、小学生の時から学んでおくことが必要です。本プロジェクトでは、①命の大切さ、②気遣いと優しさ、③普段の生活が「幸せ」であることの3つの「気づき」を実感させることを目的に置いています。

【活動の様子<一昨年>】



800個のダンボールで避難所作り



交代で胸骨圧迫やAED体験



中田市長も参加し災害図上訓練で悪戦苦闘